

## 2 追波沢川

### (1) 調査地区の概要と調査の目的

本市に多い小規模河川の自然についての資料は少なく、まとめられているものはほとんど無いといってよい。比較的自然が保全されているように見られる追波沢川を調査対象に選び、小河川の環境調査の手法について、実際に調査しながら検討することにした。

追波沢川は、翁倉山に源流があり北上川の河口左岸に河口がある大沢川の支流で、北上町十三浜の吉浜・追波地区を流れる小規模河川である。調査区間は、吉浜地区の大沢川との合流地点から上流の追場橋までとした。第二吉浜橋から吉浜橋、吉浜橋から竹の沢橋、竹の沢橋から追場橋の3区域に分け、川の兩岸を歩いて観察を行い、確認した堤防法面の植物と水生植物群落を記録することとした。

川の特徴から、水草については特に標本採集を実施し、標本を作成して確認を行った。調査で確認した植物全体については、目録を作成した。



## (2) 調査結果についての考察

### ア 第二吉浜橋から吉浜橋までの区間

(ア) 堤防法面の植生は、在来のススキが優先する群落と帰化植物のセイタカアワダチソウが優占する群落が大部分を占めている。護岸された場所では、つる植物のクズが広がっている。

(イ) 水生植物は、ヨシ、オオクグ、ヒメガマ、ホザキノフサモ、ヒロハノエビモが確認された。他に、上流から流れてきたと思われるイトモも見られた。群落としては水際に沿ってヨシ群落が最も広い面積を占め、大沢川との合流点近くではオオクグを混生している。オオクグは汽水域に生息する植物であり、この辺りまで海水の影響があると思われる。上流の吉浜沢との合流する辺り 1 箇所ヒメガマ群落が見られる。

沈水植物ではホザキノフサモが広く生育していることが確認された。水深の深い中央部分での生育が多い。ホザキノフサモも石巻地方では流れのある汽水域に多く見られる水草である。吉浜沢に近い上流側では流れの中央より岸寄りにヒロハノエビモの生育が確認された。

水辺のヤナギ群落としては 1 箇所タチヤナギの小さな群落が見られた。

### イ 吉浜橋から竹の沢橋までの区間

(ア) 堤防法面の植生は、ススキ群落、セイタカアワダチソウ群落が主で吉浜橋下流部の植生とほぼ同様であるが、クズ群落の他にクサソテツの目立つ群落も見られた。

(イ) 水生植物は抽水植物のヨシ、クサヨシ、マコモ、ヒメガマ、ウキヤガラ、沈水植物のホザキノフサモ、ヒロハノエビモ、イトモ、マツモ、浮葉植物はヒシが確認された。

抽水植物群落では、ヨシ群落の面積は少なくなり、代わってヒメガマ群落が広く面積を占めるようになり、マコモ群落が見られるようになる。マコモ群落にはウキヤガラの混生が見られる、ヒメガマ群落の中にはマコモを混生する部分が見られた。

岸辺のヨシ群落とクサヨシ群落は小面積で、ヨシ群落にはスズメウリの混生が見られた。

吉浜橋の近くでは、流れの中央部にホザキノフサモ、岸辺にはマツモ、その中間にはヒロハノエビモの生育が観察された。より上流部のマコモ群落にはヒシの混生が見られ、ヒメガマ群落とマコモ群落に囲まれたやや広い開放水域にある流れの中にイトモ群落を確認した。

水辺には、低木のタチヤナギ、イヌコリヤナギ、オノエヤナギなどの小群落が数箇所で見られ、枯れて実を付けたノダイオウが点々と見られ、3 区間の中では最も目立っていた。

### ウ 竹の沢橋から追場橋までの区間

(ア) 堤防法面の植生は、ススキ群落、セイタカアワダチソウ群落のほかにイタ

ドリ群落やアズマネザサ群落が見られ、さらに追場橋に近いところではピロードスゲ群落や帰化植物のオニノウシノケグサ群落なども見られた。この周辺では、岩手県を北限とし東北地方では産地の少ないキツネノマゴの生育が確認された。

山付きの部分では、山側にケヤキ、ケンポナシ、サイカチ、オニグルミ、シロヤナギなどの高木やヤダケの生育が見られ、浅瀬にはネコヤナギ群落が見られた。追場橋の近くでは、水流は細く、堤外は湿地状となってクサヨシ群落とミゾソバ、ツリフネソウなどが多くなり、流れの中には株立ちのタニガワスゲも確認された。

- (イ) 水生植物では、抽水植物はツルヨシ、クサヨシ、マコモ、カサスゲ、ミクリ、ヒメガマ、沈水植物ではエビモが確認された。ツルヨシ群落やマコモ群落などが茂って川幅が狭くなり、開放水域は竹の沢橋下流より狭くなる。その最も広い水域にエビモの群生を確認した。ミクリは、数箇所にも生育して個体数も多く、特に中間より上流部の山付きの岸边にはやや広い面積の群落が見られた。

## エ まとめ

追波沢川の水生植物群落は、下流から上流に向かって、抽水植物群落はヨシ・オオクグ群落、ヨシ・ヒメガマ群落、ヒメガマ・マコモ群落、ツルヨシ群落、ネコヤナギ群落と移り変わっていき、沈水植物も同様に汽水域に見られるホザキノフサモ、ヒロハノエビモから、ある程度汽水域でも生育できるイトモ、マツモ、淡水域のエビモと移り変わっていく。また、中流部には小規模ながら浮葉植物のヒシ、上流部にはかなり多くのミクリが数箇所で作っている。

本市には小河川が多いが、長さ1 kmに満たない調査範囲にこのような自然な水生植物群落が見られるのは珍しいことである。比較的良い状態にあるのではないかと予想していたが、予想以上に良好な状態で保全されていることが確認された。

今回の調査では、広くない調査範囲の中にオオクグ、ミクリ、ヒロハノエビモ、イトモ、キツネノマゴ、ノダイオウといったレッドデータブック掲載の希少種が6種確認されている。その生育状態も良好で、オオクグを除いては個体数も多い。6種という数も調査範囲の広さからみて少ない数ではない。

帰化植物は、全体のおよそ16%あまりであるが、セイタカアワダチソウ以外には特に目立つものはない。今、各地の河川で問題とされ駆除の対象とされている帰化植物のアレチウリやオオハンゴンソウの繁茂も確認されなかった。

また、空き缶やごみ類の放棄は全く見られなかったことを特記しておきたい。この地区の人々の河川管理や川に対する心遣いが景観に反映されているように感じられ、気持良く調査ができた。

市内でも北上川や旧北上川などの大河川の自然は、5年毎に実施されている「河川水辺の国勢調査」でかなり解明されているが、小規模河川の調査事例については情報が無い。

本市のように平野と丘陵が接する環境の多い土地柄では、小規模河川の自然が環境に占める割合が大きいのではないかとと思われる。生物多様性が問題にされているが、小河川の自然調査を継続的に実施し、市内の小河川全体の現況を把握することは意味のあることであろう。

今回の追波沢川の調査結果については、本市の小河川調査を実施する場合の調査方法や河川評価の参考資料として活用していきたい。

### (3) レッドデータブック (RDB) 掲載種について

今回の調査で確認できたRDB掲載種は、次のとおりである。

- ・国絶滅危惧Ⅱ類           ノダイオウ (タデ科)、イトモ (ヒルムシロ科)
- ・国準絶滅危惧           ミクリ (ミクリ科)
- ・宮城県絶滅危惧種Ⅰ類   ヒロハノエビモ (ヒルムシロ科)
- ・宮城県絶滅危惧種Ⅱ類   キツネノマゴ (キツネノマゴ科)
- ・宮城県要注目種          ノダイオウ (タデ科)、イトモ (ヒルムシロ科)、  
                                  ミクリ (ミクリ科)

### (4) 調査で確認した植物等の状況

・追波沢川下流 1



・追波沢川下流 2



・追波沢川中流



・追波沢川上流



・クサソテツ群落



・イヌコリヤナギ



・ヤナギ低木群落



・コンロンソウ



・オドリコソウ



・ヨシ群落



・ホザキノフサモ



・マツモ



・ヒロハノエビモ



・調査風景



・ツリフネソウ



・キツネノマゴ



(5) 今回の調査で確認した動植物一覧

ア 植物

(ア) シダ植物

科名	種名	花・実	備考
トクサ科	スギナ		
コバノイシカグマ科	ワラビ		
オシダ科	ヤマヤブソテツ		
	オクマワラビ		
イワデンダ科	コウヤワラビ		
	クサソテツ		山菜としての名称は「コゴミ」

(イ) 種子植物

a 裸子植物

科名	種名	花・実	備考
イヌガヤ科	イヌガヤ		

b 被子植物

(a) 双子葉植物

i 離弁花類

科名	種名	花・実	備考
クルミ科	オニグルミ	花	
ヤナギ科	ヤマネコヤナギ		バッコヤナギともいう。
	カワヤナギ		
	ネコヤナギ	実	
	イヌコリヤナギ	花・実	
	オノエヤナギ		
	タチヤナギ	花	
ニレ科	エノキ		
	ケヤキ		
クワ科	ヒメコウゾ		
	カナムグラ		
	ヤマグワ		
	マグワ		逸出植物
イラクサ科	オニヤブマオ		
	アカソ		
	アオミズ		
タデ科	オオイヌタデ		
	イヌタデ		
	イシミカワ		
	アキノウナギツカミ		
	ミゾソバ		
	ハナタデ		
	ケイタドリ		
	スイバ	花	
	ヒメスイバ	花	帰化植物
	ナガバギシギシ		帰化植物
	ノダイオウ		国絶滅危惧Ⅱ類、宮城県要注目種
エゾノギシギシ		帰化植物	
ヤマゴボウ科	ヨウシュヤマゴボウ		帰化植物
スベリヒユ科	スベリヒユ		

科名	種名	花・実	備考
ナデシコ科	オオヤマフスマ	花	
	ウシハコベ		
	ミミナグサ	花	
	コハコベ	花	
	ミドリハコベ	花	
	ノミノフスマ	花	
アカザ科	アリタソウ		帰化植物
	マルバアカザ		
	シロザ		
ヒユ科	イノコズチ		
	ヒナタイノコズチ		
	イヌビユ		
	ホソアオゲイトウ		帰化植物
キンボウゲ科	センニンソウ	花	
	キツネノボタン		
アケビ科	ミツバアケビ		
ツツラフジ科	アオツツラフジ		
マツモ科	マツモ		
ケシ科	クサノオウ	花	
	タケニグサ		
	ヒナゲシ	花	逸出植物
アブラナ科	ハルザキヤマガラシ	花	帰化植物
	ナズナ	花	
	タネツケバナ	花	
	ジャニンジン	花	
	ヤマタネツケバナ	花	
	ハナダイコン	花	帰化植物
	コンロンソウ	花	
	セイヨウアブラナ	花	逸出植物
ベンケイソウ科	ヨーロッパタイトゴメ	花	帰化植物
ユキノシタ科	ネコノメソウ	花	
	ウツギ		
バラ科	キンミズヒキ		
	ヤブヘビイチゴ	花	
	ヤマブキ	花	
	ヒメヘビイチゴ	花	
	オヘビイチゴ		
	イヌザクラ	蕾	
	ウワミズザクラ		
	カスミザクラ	実	
	ノイバラ	花	
	ニガイチゴ	花	
	モミジイチゴ	花	
	ナワシロイチゴ		
	マメ科	ネムノキ	
ヤブマメ			
サイカチ			
ツクシハギ			
クズ			
ムラサキツメクサ			帰化植物
シロツメクサ		花	帰化植物
ヤハズエンドウ		花	
ヤブツルアズキ			
フジ		花	



科名	種名	花・実	備考
マメ科	ツルマメ		
カタバミ科	カタバミ	花	
	エゾタチカタバミ		
フウロソウ科	ゲンノショウコ		
トウダイグサ科	エノキグサ		
ミカン科	コクサギ		
	イヌザンショウ		
ウルシ科	ウルシ		
カエデ科	ヤマモミジ		
アワブキ科	アワブキ		
ツリフネソウ科	キツリフネ		
	ツリフネソウ	花	
ニシキギ科	オニツルウメモドキ		
ミツバウツギ科	ミツバウツギ	花	
クロウメモドキ科	クマヤナギ		
ブドウ科	ノブドウ		
スマレ科	アギスマレ	花	
ウリ科	スズメウリ		
	アレチウリ		帰化植物
ミソハギ科	ミソハギ	花	
ヒシ科	ヒシ		
アカバナ科	アカバナ		
	メマツヨイグサ		帰化植物
アリノトウグサ科	ホザキノフサモ		
ミズキ科	ミズキ	花	
	クマノミズキ		
ウコギ科	ウド		
セリ科	シヤク		
	セリ		

## ii 合弁花類

科名	種名	花・実	備考
ガガイモ科			
アカネ科	オオバノヤエムグラ	花	
	ヤエムグラ	花	
	ヤイトバナ		
	アカネ		
ヒルガオ科	ヒルガオ		
ムラサキ科	ハレハリソウ	花	逸出植物
クマツヅラ科	クサギ		
シソ科	クルマバナ		
	カキドオシ	花	
	オドリコソウ	花	
	ヒメオドリコソウ	花	帰化植物
	ハッカ	花	
	ヒメジソ		
	イヌコウジュ		
	シソ		逸出植物
ナス科	クコ		
	イヌホウズキ		
ゴマノハグサ科	タチイヌノフグリ	花	帰化植物
	オオイヌノフグリ		帰化植物
キツネノマゴ科	キツネノマゴ	花	宮城県絶滅危惧Ⅱ類

科名	種名	花・実	備考
オオバコ科	オオバコ		
	ヘラオオバコ	花	帰化植物
スイカズラ科	ニワトコ		
オミナエシ科	ツルカノコソウ	花	
キク科	ヨモギ		
	アメリカセンダングサ		帰化植物
	コセンダングサ		帰化植物
	ノアザミ	蕾	
	タカアザミ	花	
	コスモス		逸出植物
	キクタニギク		
	ヒメムカシヨモギ		帰化植物
	ハルジオン	花	帰化植物
	ハキダメギク		帰化植物
	キクイモ		帰化植物
	ブタナ	花	帰化植物
	オオジシバリ	花	
	ユウガギク	花	
	アキノノゲシ		
	フキ	花	
	コウゾリナ	花	
	メモナミ		
	セイタカアワダチソウ	花	帰化植物
	ヒメジョオン		帰化植物
エゾタンポポ	花		
セイヨウタンポポ	花	帰化植物	
オニタビラコ	花		

(b) 単子葉植物

科名	種名	花・実	備考
ヒルムシロ科	イトモ		国絶滅危惧Ⅱ類、宮城県要注目種
	エビモ		
	ヒロハノエビモ		宮城県絶滅危惧Ⅰ類
ヤマノイモ科	ヤマノイモ		
イグサ科	コウガイゼキショウ		
	スズメノヤリ	花	
ツユクサ科	ツユクサ		
	イボクサ		
タケ科	アズマネザサ		
	ヤダケ		
イネ科	メリケンカルカヤ		帰化植物
	ハルガヤ	花	帰化植物
	スズメノチャヒキ	花	
	カモガヤ	花	帰化植物
	メヒシバ		
	イヌビエ		
	カゼクサ		
	オオニワホコリ		
	オニウシノケグサ	花	帰化植物
	ネズミムギ	花	帰化植物
	オギ		
ススキ			

科名	種名	花・実	備考
イネ科	ヌカキビ		
	スズメノヒエ		
	チカラシバ		
	クサヨシ		
	ヨシ		
	ハルガヤ	花	帰化植物
	ツルヨシ	花	
	ミゾイチゴツナギ	花	
	アキノエノコログサ		
	キンエノコログサ		
	エノコログサ		
	マコモ		
シバ			
カヤツリグサ科	アオスゲ	花	
	カサスゲ	花	
	タニガワスゲ		
	オオクグ		国絶滅危惧Ⅱ類、宮城県準絶滅危惧
	カヤツリグサ		
	タマガヤツリ		
カヤツリグサ科	ウキヤガラ		
ウキクサ科	アオウキクサ		
ミクリ科	ミクリ		国準絶滅危惧、宮城県要注目種
ガマ科	ヒメガマ		

## イ 動物

### (ア) 昆虫類

目・科	科名	種名
双翅目	ツリアブ科	ビロードツリアブ
鞘翅目	テントウムシ科	ナミテントウ
		ナナホシテントウ
トンボ目	イトトンボ科	クロイトトンボ
	ヤンマ科	ギンヤンマ
	オニヤンマ科	オニヤンマ
半翅目	カメムシ科	オオキンカメムシ
	サシガメ科	アカヘリサシガメ
	アメンボ科	オオアメンボ
鱗翅目	アゲハチョウ科	アゲハ
	タテハチョウ科	アカタテハ
	シロチョウ科	キチョウ
		モンシロチョウ
		スジグロチョウ
	シジミチョウ科	ベニシジミ
		ルリシジミ

### (イ) 鳥類

目名	科名	種名
ペリカン目	ウ科	カワウ
コウノトリ目	サギ科	ゴイサギ
		アオサギ
カモ目	カモ科	カルガモ
タカ目	タカ科	ミサゴ
		トビ

目名	科名	種名
スズメ目	ツバメ科	ツバメ
	ヒタキ科ウグイス亜科	オオヨシキリ
	ホオジロ科	ホオジロ
	ムクドリ科	ムクドリ
	カラス科	ハシブトガラス
	ハタオリドリ科	スズメ

(ウ) 両生類

目・科	科名	種名
無尾目	アカガエル科	ニホンアカガエル